

要旨

高エネルギー宇宙線に対するイオンビーム照射環境の提供にあたり、線束同定技術の分野で開発余地がある。二次粒子である高エネルギー光子線の測定によりビーム線束を同定することを目指し、同様のエネルギー領域の自然光子線を観測可能な乗鞍岳において光子線測定器の動作検証を行ったところ、良好な動作結果が得られた。同時に、雷由来の高エネルギー光子線についても電場計と同時計測することによりデータ収集した。現在解析を進行中である。